

科目名	文化総合2（オムニバス授業）					単位	2.0
担当教員	沼波 政保・玉井 威・渡邊 幸彦・小田 則子・安藤 弥						
授業形態	講義	開講期間	後期	配当年次	1	授業番号	5504

●授業のテーマ

映画を通してみる社会

●到達目標

映画を取り巻く社会状況を理解し、映画から自発的に問題点を発見できるような意識を身につける。

●学習内容(授業概要)

文化総合1では、映画を通して、世界の国々の歴史や今置かれている状況を概観してきましたが、本講義ではさらに深く世界の各地域のさまざまな文化現象を見ていきます。

読者の想像力を前提として、文字のみで訴えかける「文学」とは違い「映画」は、視覚と聴覚の両方に訴えかける総合的なメディアであり、そのため、ストーリーとは無関係な細部に至るまで実に細かな描写が必要とされます。

我々はそんな映画の中に描かれた社会性を読みとっていかうと思います。世界各地の人々の暮らしの中にある問題を映画がいかに描いてきたか、複数の講師が順に語っていきます。

●学習内容(授業計画)

- 1 ガイダンス
- 2 映画から見る社会（中国と台湾）
- 3 映画から見る社会（中国と香港）
- 4 映画から見る社会（日本）
- 5 映画から見る社会（日本）
- 6 映画から見る社会（東アジア）
- 7 映画から見る社会（近代中国）
- 8 映画から見る社会（西欧）
- 9 映画から見る社会（西欧）
- 10 企画
- 11 映画から見る社会（子ども）
- 12 映画から見る社会（子ども）
- 13 映画から見る社会（社会問題）
- 14 映画から見る社会（その他）
- 15 まとめ

●準備学習・事後学習の内容

事前に、(ガイダンス時に提示される)スケジュール(日程)に基づいて、講義に必要な基礎知識を調べておくこと。事後は、講義時に提示された問題点を再度映画を見ながら考察しておくこと。

●成績評価方法・基準

平常点 10割

●テキスト（必携）
特になし

●参考文献／その他
講義時に指示する。

●履修上の注意
各講師ごとにレポート課題を出すので、講義時の注意をよく聞くように。